



アグアスだより



令和8年度10月号
令和8年10月1日(木)発行

前期から後期へ <運動会について>

4月10日(金)に行われた着任式・始業式・入学式からアグアスカリエンテス日本人学校の令和8年度の前期がスタートしました。そして、秋休みを挟んで、後期が10月5日(月)からスタートします。後期は、前期で身に付けてきた力をさらに伸ばし、発揮する大切な時期であり、ここでの取組が令和9年度のスタートにつながっていきます。それぞれの目標を見据え、改めて新しい気持ちで後期をスタートさせていくことが大切です。中でも、中学部3年生には、自分の進路について真剣に考え、将来の夢に向かって一日一日を大切にしてほしいと願っています。学校としましてはできる限りのサポートをしてまいります。

<運動会について>

9月5日(土)に行われました第30回の運動会には、本校の保護者・来賓・関係者など約90名の方々が、また、交流校であるフランスス校からは校長先生をはじめ児童生徒とその保護者の方々など50名を超える方々が御参加してくださいました。たくさんの方に御参観いただき、盛会裏に開催できましたことを心からお礼申し上げます。

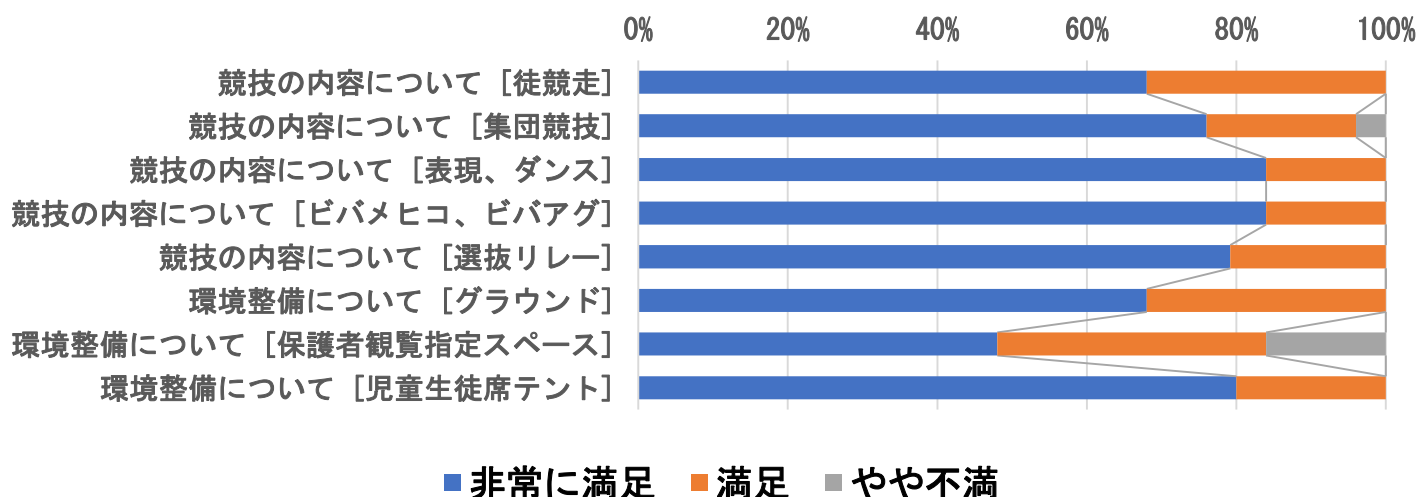
また、運動会後には保護者の皆様にアンケートへの御協力をお願いし、25名の方から御回答をいただきました。このアンケート結果につきましては、次年度に生かしていきたいと考えております。

【アンケートまとめ】

・8項目のうち7項目において、「非常に満足」及び「満足」の合計が 90%を超えており、全体としては、非常に高い評価をしていただいたと考えています。

次ページへ続く

運動会保護者アンケート結果



【記述でいただいた回答について】

- ・開会式で音響のトラブルがあり、お詫びの放送を入れさせていただきました。予行練習では問題なかったものの、当日の限られた時間の中でもできる限りのチェックをしたいと思います。
- ・各種目のルールやメンバーの決め方等につきましては、来年度に向け検討いたします。
- ・安全面につきましては、環境の整備や点検とともに、子どもたちへの指導も充実させてまいります。
- ・3年、4年生の表現種目につきましては、現地の方を講師として招聘し、その方を中心に毎年変わる表現内容や衣装等について準備を進めています。講師の方との連携をより密にして、必要な情報等を保護者の方々にできるだけ速やかに連絡するようにいたします。
- ・「保護者観覧指定スペース」については、強い日差しを避けるためのタープ等の設置を望まれる声をいただいています。この点につきましては、本校の財務面での事情等から実現は難しい状況です。今年度は体育館の日陰を御利用いただけるよう事前に御案内させていただきました。また、他の観覧される方々に御配慮の上日傘等を御使用いただくなどの御対応をしていただければ幸いです。

(校長 平出 善男)

10月行事予定

- 1日(木) 前期終業式
- 2日(金) 秋休み(～4日)・第2回英検1次
- 5日(月) 後期始業式・後期委員会①
学習発表会特別時間割開始
- 6日(火) PTA図書貸出
- 7日(水) 学習発表会係会
- 8日(木) 音楽集会⑥・進路懇談(中3 ※5時間授業)
- 9日(金) 進路懇談(中3 ※5時間授業)
- 13日(火) PTA図書貸出
- 14日(水) 学習発表会係会①
- 15日(木) 音楽集会⑦・学習発表会全校練習
- 19日(月) 学習発表会係会③
- 20日(火) フランス校合同練習(予定)
PTA図書貸出
- 21日(水) 学習発表会準備
- 22日(木) 学習発表会予行
- 23日(金) 後期委員会②・小1～3 5時間授業
- 24日(土) 学習発表会・学習展示
- 26日(月) 振替休業日
- 27日(火) 学習展示鑑賞・学習発表会振り返り
小6校外学習・PTA図書貸出
- 28日(水) 後期クラブ①
- 29日(木) 死者の日の集い・小3～4 フランス交流
- 30日(金) ブロック朝会・小1～2 校外学習
進路説明会(中2)

10月は「読書週間」です ～読書の冒険を始めませんか～

10月27日(火)から11月9日(月)までの2週間は「読書週間」です。本を読む楽しさや大切さを再確認し、読書を推進するために設けられたもので、今年は第80回を迎えます。今年の標語は「静かだけど、冒険中。」です。本のページをめくるたびに、新しい発見と出会いが待っています。この機会に読書の冒険を始めてみてはいかがでしょうか？読書のメリットや習慣化するための方法をお伝えします。



＜読書がもたらす大きな力＞

読書には、お子さんの成長を支える多くのメリットがあります。学習面では語彙力や読解力が向上し、国語だけでなく算数の文章題や他の教科の理解力も高まります。また記憶力や思考力も自然と身につけていきます。

心の成長にとっても読書は大きな効果があります。物語を通じて様々な感情に触れることで、他者の気持ちを理解する力が育ちます。困難に立ち向かう主人公の姿から、問題解決のヒントを得ることもできます。

メキシコでも基本的な識字率の向上や学習能力の育成のために国内の読書率向上や読書習慣の定着を目指し、国家規模で国家読書戦略(Estrategia Nacional de Lectura: ENL)が推進されています。

<家庭で読書週間を育む 3つのコツ>

読書を習慣として続けるうえで一番大切なことは「無理をしないこと」です。

1. 興味のある本に触れることと、読み終えた達成感を味わうこと

まずは、お子さんに図書室に行って興味をもてる本を選んで借りることを勧めてください。本を借りてきたら、どこに興味をもったのか、聞いてあげてください。絵がきれいな、字が大きくて読みやすそう、知っているキャラクターがでている、など理由はなんでもかまいません。

お子さんの興味と最後まで読めたという達成感を大切にしてください。「自分で選んだ本を最後まで読めた!」という達成感は次の一冊へとつながります。

2. 読書記録をつけて「がんばりが見える化」すること

読書を続けるには「がんばり」が目に見えることが大切です。できれば読書ノートを用意して、日付、読んだ本のタイトルや、読んだページ数、心に残った場面を書き留めると、お子さん自身が成長を実感できます。「今月は〇冊読めたね」と声をかけてあげることも、大きな励みになります。

「毎日〇ページ」と決めず、お子さんのペースを尊重することも重要です。読まない日があっても気にする必要はありません。読めた日をほめてあげてください。お子さんが読んでいる本について話を聞いてあげると、読書への意欲がさらに高まります。

3. 「すきま時間」を活用すること

朝ごはんの後の5分、寝る前の10分など、ちょっとした時間を読書タイムにしてみましょう。「この時間に読む」と決めておくと、習慣になりやすくなります。

繰り返しますが、大切なのは無理をしないことです。自分のペースで楽しみながら読書を続けていきましょう。

<本校の取り組み>

本校では読書を習慣づけるために様々な取り組みをしています。

1. 学校図書室の開放・充実

月曜日から水曜日までのお昼休みに図書室を開放しています。学校図書室には、文学からスポーツの本、人気のキャラクターが登場する本まで多数揃っているのも、様々なジャンルの本に触れることができます。貸し出しも行っており、2週間で5冊まで借りることができます。

2. 読み聞かせ

PTAのボランティアの方々が「PTA絵本の会」と題して、読み聞かせに来てくださっています。また図書委員会による読み聞かせも行っています。読み聞かせを通して①聞く力（傾聴力）の向上、②集中力の養成、③想像力・創造力の育成、④心の豊かさや共感力の育成といった効果を期待しています。どの学年の児童生徒もみな真剣に聞いています。

3. 朝読書

毎週火曜日と木曜日は朝の会から1時間目までの15分間を朝読書の時間と定め、継続的に読書習慣を育てる取り組みを行っています。

<おわりに>

ぜひお子さんに、「図書室でどんな本を借りたの?」、「今日の読み聞かせはどうだった?」などと声をかけてみてください。御家庭と学校が連携することで、お子さんの読書習慣はより確かなものになります。



(図書担当: 周藤かおる)

出典: 公益社団法人 読書推進運動協議会 公式サイト
メキシコ公教育省(SEP) 国家読書戦略 公式サイト